

～しらおい防災マスター会～

災害に町民はどう備えるか

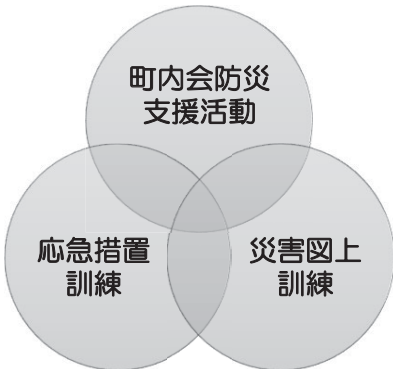
それには
「地域を知る」
「災害を知る」
「人を知る」 こと

2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震。M9.0、最大震度は7を記録。その後襲った巨大津波。東日本大震災だった。翌年5月、吉村智さん（会長）と民部吉治さん（事務局長）の2人が現地を視察。「言葉が出ませんでした。画像では決して分からないでしょう」という被災の状況を目の当たりにしました。「地震、津波に対して少しでも知識を持っていなければならぬ」と痛感した2人は13年道の研修を受けて「北海道地域防災マスター」の認定

甚大な被害を及ぼした東日本大震災から今月でちょうど10年。発生翌年に被災地を視察して衝撃を受けた町民2人を核に、思いを同じくするメンバーで地域の防災教育の普及・啓発に努め、このほど令和2年度北海道社会貢献賞を受賞した「しらおい防災マスター会」の活動と、防災に対する準備・心構えを紹介します。

2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震。M9.0、最大震度は7を記録。その後襲った巨大津波。東日本大震災だった。翌年5月、吉村智さん（会長）と民部吉治さん（事務局長）の2人が現地を視察。「言葉が出ませんでした。画像では決して分からないでしょう」という被災の状況を目の当たりにしました。「地震、津波に対して少しでも知識を持っていなければならぬ」と痛感した2人は13年道の研修を受けて「北海道地域防災マスター」の認定

活動内容は



この三つの活動を中心に各町内会への出前講座と関係団体への防災講演、自主

勉強会などを実践しています。出前講座はまさに「お茶の間防災」。要請があった個人宅におじゃまし、5人以上が集まって防災講話をしています。「防災教育は子どもの時から」と、教育現場へも出向いています。図上訓練は災害を想定したDIG、避難所運営ゲームHUGと呼ばれる訓練。だれでも取り組めますが、内容は非常に計算された高度なもので体験者の多くは「非常に勉強になった」と感想をもらいます。

自主勉強会の内容も実に充実しています。同会事務局長の民部さんが多方面にアンテナを張り、得たさまざまな情報を毎月、自主勉強会のテーマとして提供。活動がままならないコロナ禍の中でも、会員に資料を届け、スキルの向上に励んでいます。

「私たちが情報を集め、『何をしたらいいのか』と立ち止まっている町民に情報を提供し、防災への自覚を持ってもらうのが役目」と活動の目的を話しています。

活動グラフィティ



写真は同会提供

令和2年度北海道社会貢献賞を受賞しました

防災講習会の講師や町防災訓練などへの参加、出前講座、自主勉強会など地域に根付いた活動が地域防災力の向上につながっているとして、高く評価されました。

授賞式には吉村会長と民部事務局長が参加しました。胆振総合振興局の花岡祐志局長が「これからも力添えを」と、同会の活動に感謝

地域防災力の向上を図る活動が高く評価

を述べ表彰状を手渡ししました。吉村会長は「自分の命は自分で守るということを持ってもらうことを基本に取組んでいきたい」と話していました。同席した戸田安彦町長も「さらに広く活動していただければ」と期待を寄せていました。（1月21日）



左から花岡局長、民部さん、吉村さん、戸田町長